



かわら版あんず

第 39 号

発行責任者 金岡 けい子
〒316-0035 日立市川尻町 7-32-5
TEL. 0294-42-8176

夏祭りを終って

7月の声を聞くと、地域で行なわれる「夏祭り」より一足早く「あんずの夏祭り」が、盛大に開催されます。例年たくさんの方の参加がありますが、今年も百名以上の方が集まり楽しく行なわれました。会費は、コイン一枚(五百円)、子どもはタダというのが、とても魅力的だと思いますせんか。

皆でバーベキューを作り、まず腹ごしらえです。炭をおこすのに苦労しましたが、真っ黒になりながらも上手に出来ました。お肉だけでなく、イカやホタテ、焼きそば、おにぎり、そうめんなどおいしいものが盛りだくさん。また、金、尹夫妻からのおいしいキムチの差し入れもあり、笑顔がいっぱいでした。作るのが得意な人、食べるのが得意な人、友達と話に花の咲く人、それぞれのグループで個性が発揮されました。食べ終わっての片付けは、去年と違いました。皆さんがとても上手に分別してくれたので、ごみの量が少なく、きれい

に片付けることができました。

次に茨城キリスト大学生の音頭で賞品いっぱいのゲームを楽しみました。最後は「すいかわり」です。子どもも大人も、甘い大きなすいかをたくさん食べて満足し、夏祭りが終わりました。

夏祭りで印象に残ったことは、皆さんが、後片付けや掃除を進んでやってくれたことです。お国が違っても参加者全員で協力して出来ることというのは、素晴らしいことだと思います。

また来年も、楽しくできることを願っています。

宇津木 和子



参加者 110 名！



BBQ



食事風景 1



食事風景 2



後片付け



ゲーム



すいか割

定期総会 なごやかに開催される

さわやかな五月晴れの5月10日フレンドリーあんずの総会がおこなわれました。

いつも皆様におかれましてはお骨折りをかけておりますので、すこし気分を変え食事をしながら「総会」ということでレストランでみんなでテーブルを囲み、おいしいものをいただくということは心を豊かにしてくれます。

19年度の報告や20年度の海外支援事業のラオス国への支援、各種教室における外国人との交流、関係機関への協力事業や新規事業等の活動計画を話し合い、なごやかに会を閉じることができました。

諸沢 和子



バザー ご協力ありがとうございました

4月27日、塙山交流センターで恒例のごじゃっぺ市が開かれました。フレンドリーあんずは地元との交流、活動資金獲得のため、昨年引き続き参加しました。

ごじゃっぺ市は、名前のとおり、個人であれ、団体であれ、商店であれ、売れると思われるものなら何でも、ごじゃっぺな物を、交流センターの庭に

所狭しと並べて売る、いわゆるフリーマーケットですが、交流センターにも催物があり、センター祭りといった感じです。お客さんは塙山地区の人たちが主ですが、なかなか賑わう、楽しい市です。

フレンドリーあんずは会員からのそれまでの沢山の提供品、衣類、雑貨、食器、食品、プレゼント品などに加え、福地さんが作った大量の山菜の天ぷら、東ねた野せり。今野が作ってみたホタテのちらしずし弁当を並べました。時間前からお客さんが集まり、それぞれが超低価格のせいもあり、食品は早々に完売、ほかの物もこれまでになく売れました。私自身、売り子の合間あちこち見て回り、皿、洋服、寝具まで、つい買ってしまいました。又、来年、売ると買うのを楽しみにしています。ぜひ、皆さんもご参加ください。今年の担当は、福地、松浦、木村、今野でした。

今野 美千子



社会福祉協議会 ボランティア連絡交流会

8月20日、日立市ボランティアグループ交流会が行なわれました。フレンドリーあんずでは、お赤飯ときんぴらのお弁当と、きゅうりのキムチ漬け、不用品の販売を、行ないました。前日に十人程のお手伝いの方が、諸沢さん宅に集まり、下準備をしました。当日は、朝6時より集まり、暑い中、かまどに火を入れ、お赤飯を作りました。事前に注文を頂き、皆様のご協力でき収益をあげることができ感謝いたしております。当日はオカリナ、車椅子ダンス、ハーモニカ、民舞、手話、コーラス、ハンドベル、銭太鼓、ワンちゃん一芸の活動発表があり、お楽しみコーナーや最後の大抽選会は盛りあがりました。

加藤 洋子



自治体国際協力促進事業モデル事業について

研修生 ダーウォンさん in 日立

8月23日、ラオスよりダウォン・スリワンさんが来日しました。

諸沢さん宅で、日本語を学びながら日本の生活を経験する為のホームステイです。ダーウォンさんは初めは緊張の面持ちでしたが、日本語を一生懸命に学び、理解するにつれ、大きな声での会話になり、ノートにはきれいな字の日本語が次々と書き込まれて行きました。又、ダーウォンさんが気持ち良く過ごせるようにと願う会員の方々の心配りや協力により、色々な体験をし、段々と明るい笑顔がみられるようになりました。

8月31日の会員心尽くしの歓迎会ではバーベキューをいただき、支える会の方々と交流し、楽しい雰囲気の中、ダーウォンさんのこれからの研修の無事を祈り、水海道へ送り出しました。

金岡 けい子

8/23(土) 来日 日立・諸沢宅 生活指導

8/24(日) 生活指導・日本語研修

8/25(月) 日本語研修

8/26(火) 日本語研修・あんず日本語教室(火曜)

8/27(水) 日本語研修・生け花体験・健康診断・携帯電話カード購入

8/28(木) 日本語研修・市内見学・寿司(昼食)

8/29(金) 日本語研修・あんず日本語教室(金曜)・かみね公園

8/30(土) 日本語研修・市内見学・買物・河原子海岸へ海を見に

8/31(日) 歓迎会・(諸沢宅庭にてバーベキュー) 水海道のアパートへ

9/ 1(月) 水海道幼稚園にて研修開始

20年2月28日まで



ふれんどりーあんず「世界の料理」

—平成20年度日立女性チャレンジ支援事業に選ばれる—

7年間、日本語教室の受講生を講師にタイ、インドネシア、ベトナム、ペルー等の出身国の家庭料理の講座を開き、国際理解や外国人と市民との交流を図ってきた。更に日立の食のぶんかしげんとして地域に広めたいという施策が認められたものである。主な事業内容は、(1) フェアの開催—男女共同参画をすすめる2008のつどいでステージ発表、(2) 交流センターへの出前講座、(3) 料理レシピ集の作成である。

故郷紹介 (ニューマヤさんの故郷フィジー)

私の国フィジーはオセアニアに属し、正式名称は、フィジー諸島共和国と言います。

住民はフィジー人51%、インド人44%、多民族5%で、国土は、約300の島から成り立っています。主な産業は、漁業で就業者は38%にのぼります。

気候は、一年中暖かく過ごしやすく、又近年観光地として有名になってきています。私の育ったスバは、フィジーの首都で観光客も訪れます。スバで催すハイビスカスまつりには色々な多文化(フィジー・インド・中国など)が紹介されます。歌、ダンス、食べ物など盛り沢山の催しに、大勢の人々が一週間にわたって楽しめます。それに、セブンズラグビーは世界で一番です。ゴルフはビジェー・シンがアメリカで活躍しています。

私は、国際交流を通して、これからのフィジーの発展のために尽くして行きたいと思います。

ニューマヤ



日本語教室の今

日本語教室 (火曜日 反町 正美)

1998年から3年間の中国での生活がきっかけで、“外国の人に日本語を教えられたら”と思うようになった。フレンドリーあんずにお世話になって早6ヶ月、髪の毛の白い日本語教師1年生として何とかヨチヨチと歩き出した今日この頃である。現在、学習者はインドネシア出身のウマルスヤさん。経験不足の新米教師ではあるが、彼は覚えが早く、またペアを組む太田さんの絵の表現にも助けられ授業は楽しく運んでいる。日本語がこれほど難しいとは……。今後さらに精進し、学習者に信頼される教師を目指していきたいと考えている。

金曜教室の小さな窓 (金曜日 茅根 和代)

あんずの会員になって4年半、授業の前は、毎週どのように授業を展開したものかと、いろいろ思いを巡らす。鈍化した頭脳は、パッとよい考えを提供してはくれず、毎日四苦八苦している。しかし、何とか早く、日本語の運用能力を高めようと頑張っている生徒さん方の姿勢に、ボヤボヤしていられなすと、私はまた自分の頭を捻るのだ。

日本語を接点に、外国の方々と、小さくはあるが学びの空間を共有し、それぞれのお国の様子を教えてもらい、新しい発見をするのが、私にはとても楽しいのである。生徒さん方は、日本語学習においては教えてもらう立場でも、各国の生の様子を教えてくれる同等の仲間なのである。

彼らの日本語での暮らしが、少しでも居心地のよいものになるよう願っています。

あしあと



- ・総会 日立国際交流協議会 5/19
- 日立ボランティアグループ連絡会 5/21
- 「茨城アジア・教育基金」を支える会 5/25
- ・平和展 展示 シビックセンターギャラリー 8/2~15
- 講演会 坪井ひろし氏 8/9
- 「地雷と生きる・エイズと生きる
～海外人道支援の立場から～」
- ・歓迎会 ラオス研修生ダーウォンさん 8/9

お知らせと今後の予定

- ・女性センター祭り 10/18,19
(女性センター)
- ・国際文化祭り 2008 11/15
シビックセンター
- ・フレンドリーあんず 12/13
年忘れ会
(会瀬交流センター)
- ・男女共同参画を 1/31
すすめるつどい
ステージ発表
(多賀市民プラザ)

編集後記：テレビの前で熱く燃えた北京オリンピックも終え気が付けば、秋！ さあ、これからは見ている側から参加する側へ。秋は盛り沢山の協議が…！ 女性センター祭り、国際文化祭り e t c. 皆さんも一緒に出場しましょう。 “かわら版あんず”も皆様の協力のみごとゴール、さしずめチームプレーの連携に金メダルでしょうか？